

地球環境時代における教育小委員会 第1回議事録

■日時：平成18年 5月 29日（月） 16:30～19:00

5

■場所：建築会館 305会議室

■出席者：吉野博（東北大学）、三浦秀一（東北芸術工科大学）、菅原正則（宮城教育大学）、
小澤紀美子（東京学芸大学）、宿谷昌則（武蔵工業大学）、妹尾理子（住宅総合研究財団）、
高橋達（東海大学）、西川竜二（秋田大学）、村田昌樹（OM計画）、吉野泰子（日本大学）、
石井洋平（技報堂出版）、米沢香織（学会事務局）
：12名

10

■資料：1-0 地球環境時代における教育小委員会 第1回 議事次第

15

1-1 地球環境時代における教育小委員会 第6回 議事録（案）／菅原委員

1-2 水沢小学校エコ改修検討会 0303案／菅原委員

1-3 環境学習に優先的に取り組む授業／菅原委員

1-4 平成17年度主体間連携モデル推進事業 成果概要／吉野（博）委員長、菅原委員

1-5 「環境教育用教材 学校のなかの地球」目次案／学会事務局、石井氏

20

1-6 学校における住環境教育の可能性—学習指導要領からの分析—／妹尾委員

1-7 温度や風を測ってみよう ～親子による環境体感ワークショップの試み～／田中委員

1-8 緑のカーテンによる環境教育／オーガニックテーブル

1-9 住居模型を用いた「暖かい家をつくろう」の提案（構成案）／菅原委員

1-10 室内空気質のモニタリングと住環境意識へ及ぼす効果／菅原委員

25

1-11 住環境教育に関する情報データベース／石井氏

1-12 タイトル無し（住環境教育に関する情報データベースの内容一覧）／石井氏

1-13 エネルギー環境教育情報センター 学校関係者向け各種教材／石井氏

1-14 タイトル無し（住環境教育に関する情報データベースの内容一覧）／石井氏

1-15 住環境教育教材 学校のなかの地球（宿谷の担当分）／宿谷委員

30

1-16 （社）日本建築学会編「環境教育用教材 学校のなかの地球（授業で使える体験シート付）」
（仮称）／石井氏

1-17 「照度しらべ」と「つくろう！光環境」／西川委員

■議事：

35

1. 議事録確認

前回議事録案（資料1-1）は承認された。

2. 刊行について

妹尾委員から原稿（資料1-6）の概要が説明され、これに対し次のような意見があった。

40

（小澤）1991年の学習指導資料には中学高校のカリキュラムがどのように関連するかのマトリックスが示されているので、それを利用するとよい。また、今年6月に出ると言われている新学習指導資料には持続可能性の概念が入るようだが、そのこともコメントした方がよい。

「クリティカル」を「評価的」とするか「批判的」とするか要注意。敢えて訳さない方がいいこともある。

45

田中委員の原稿（資料1-7）およびオーガニックテーブルの原稿（資料1-8）について、概要が確認された。

米沢氏から、本田氏から原稿が遅れる旨の連絡、また田辺研の学生から執筆要領の問い合わせがあったこ

とが報告された。

今後のスケジュールや冊子の体裁等（資料1-16）について、確認された。付録のみB4判折込みとする。査読前の原稿枚数は6/9（金）とする。

菅原委員から原稿（資料1-9、1-10）の概要が説明され、これに対して次のような意見があった。

5

（小澤）何を意図して何を理解させるのかが書かれてないと、先生たちには使えない。
どの学年のどこで使えるか、分かりやすくして欲しい。

宿谷委員から原稿の執筆状況（資料1-15）が報告された。この時点で次のような意見交換がなされた。

10

（小澤）先生たちに響かせるために、この本で扱われる住環境教育の事例が地球環境とどのようにつながるのか、またなぜ体験学習が重要なのかをどこかで総括的に触れて欲しい。

（三浦）地球温暖化と暮らしについては、タイトルを「住まいから地球を見る目」のようにして私の原稿で触れたいと考えている。

15

（宿谷）他に、建築の専門家も一般の人たちも建築の中に住んでいるのに、両者の考え方にはズレがあることについても触れることが重要と考える。

（妹尾）宿谷先生の原稿の中で、できれば白熱灯と蛍光灯の見分け方について触れて欲しい。

（宿谷）これ自体、ワークショップのいい題材なので、次のバージョンなどで扱えればと思う。

20

石井氏から情報データベース（資料1-11～1-14）について説明があり、これに対して次のような意見があった。資料1-14のIV講師派遣の欄は削除することになった。

25

（小澤）資料1-12の刊行物「考えよう！住まい方のくふう」は無償ではなく教育委員会が購入して初めて配布されるものなので、削除して欲しい。中学校版だけあればよい。

住宅生産団体連合会はWeb上で教材を提供しているので、「お役立ちHP」に掲載すると良い。

西川委員から原稿（資料1-17）の概要が説明され、それに対して、明暗順応の解説と、照度計を借りられる所の情報を記載する要望が出された。

30

3. 地球温暖化防止のための環境学習プログラムの紹介

小澤委員から、標記（各委員には既に郵送済み）について説明があった。CD-ROMの内容は全国地球温暖化防止活動推進センターのHPからダウンロードできる。活用した結果の報告を期待しているとのことであった。

35

4. 環境省平成17年度主体間連携モデル推進事業報告会

吉野（博）委員長、宿谷委員、菅原委員から、標記（資料1-4）について説明があった。住環境教育の情報データベースに加えられる団体もあると考えられる。今年度の申込枚数は過ぎている。

40

5. 水沢小学校の学校校舎エコ改修事業の実施状況

菅原委員から、標記（資料1-2、1-3）について説明があった。

（宿谷）先生たちには「教える内容が増える」というのではなく、既に教えるべき内容に対して「教えるための題材（ネタ）が増える」ように持っていくと、受け入れられやすい。既存のカリキュラムや指導方針を変えずに環境教育の題材をうまく忍び込ませられればしめたもの。

45

6. 次回開催日

次回委員会は、8月31日（木）14:00～17:00 日本環境協会会議室で行う。

以上